

科目ナンバー	EDU-2-055-j	科目名	教育と社会「教育原理II」(中等)		
教員名	平岡 さつき、竹内 愛	開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	教育に関する社会的事項および制度的事項、学校と地域との連携、学校安全への対応について、諸外国の取り組み事例も踏まえて学びます。教育に関する社会的事項については、社会の変化を理解し、その変化が学校教育にもたらす影響とそこから生じる課題、ならびにそれに対応するための教育政策の動向を理解します。教育に関する制度的事項については、現代公教育制度の意義・原理・構造について、その法的・制度的仕組みに関する基礎知識を身につけるとともに、そこに内在する課題の理解を図ります。学校と地域との連携については、その意義や協働のしかたについて、取り組み事例を踏まえて理解するようにします。学校安全への対応については、学校管理下で起こる事件、事故および災害の実情を踏まえて、法に基づく危機管理を含む学校安全の目的と具体的な取り組みを理解できるようにします。				
到達目標	①教育に関する社会的事項および制度的事項について基礎的な知識を身につけるとともに、それらに関連する課題を理解すること。 ②学校と地域との連携に関する理解および学校安全への対応に関する基礎的な知識を身につけること。 ③教育をめぐる様々な課題や事件を読み解く力を獲得すること。 ④論理的に考え、まとめることができること。 ⑤授業の内容のなかから自ら課題を設定して考察することができること。				
「共愛12の力」との対応					
識見	自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力
共生のための知識	○	自己を理解する力	伝え合う力	○	分析し、思考する力
共生のための態度		自己を抑制する力	協働する力	○	構想し、実行する力
グローバル・マインド		主体性	○	関係を構築する力	実践的スキル
教授法及び課題のフィードバック方法	まず配付レジュメや資料にもとづいて講義を行います。基本的な事項を共有したうえでグループディスカッションやプレゼンテーションの機会を設けます。フィードバックやポートフォリオ評価のため、随時、授業中に考えたことや質問事項を記す「活動報告シート」の提出を求めます。担当者は質疑応答の時間を設け、助言や指導を行います。				
アクティブラーニング	○	サービスラーニング		課題解決型学修	○
受講条件 前提科目	中等の教職をめざす人の必修科目です。				
アセスメントポリシー及び評価方法	「共生のための知識」、「分析し、思考する力」、「協働性」をおもな評価の対象にします。プレゼンテーション・チェックシート(40%)、法規等に関する試験(40%)、授業シート及び小テスト(20%)				
教材	特定しませんが、授業で参考文献等の紹介を行います。				
参考図書	教育目標・評価学会編『「評価の時代」を読み解く』(日本標準、2010年) 小林千枝子・平岡さつき・中内敏夫著『到達度評価入門』(昭和堂、2016年) 二宮皓『新版 世界の学校:教育制度から日常の学校風景まで』(学事出版、2015年) 文部科学省『諸外国の教育動向』(明石書店、2016年)など。				
内容・スケジュール					
1週目					
授業学修内容	シラバス授業:授業ガイダンス授業の概要と到達目標、スケジュール、評価方法、関連資料等についてシラバスに基づき解説する。				
授業外学修内容	授業について必要な情報を収集したうえで履修手続きをしてほしい。			時間数	
2週目					
授業学修内容	学校をめぐる様々な状況の変化				
授業外学修内容	授業で対象とする社会的・制度的事項の中から、着目する課題を設定してシートにまとめる。			時間数	2
3週目					
授業学修内容	子ども生活の変化と指導上の課題「学力」の国際比較の動向を手がかりに考察する。				
授業外学修内容	国際調査の問題やデータを読み解き、活動報告シートを完成させる。			時間数	3
4週目					

授業学修内容	教育政策の動向(1)日本における学力政策グローバルな状況と連動した日本の教育政策をとらえる。		
授業外学修内容	様々な調査結果データを調べ、学力テスト問題を読み解くなかで活動報告シートを完成させる。	時間数	3
5週目			
授業学修内容	教育政策の動向(2)「教育評価」とは何か授業レジュメや資料に基づき「教育評価」概念を認識し、教育評価に関する動向について考察する。		
授業外学修内容	考察を深め、活動報告シートを完成させる。	時間数	3
6週目			
授業学修内容	公教育の原理および理念:教育基本法を読む 教育基本法の改定理由や背景を歴史的におさえ、条文の用語や概念の意味を理解する。		
授業外学修内容	重要用語や概念について調べ、条文に関連した日本の現状を把握し、さらなる認識の深化をはかる。重要用語や概念についての確認テストに向け復習しておく。	時間数	3
7週目			
授業学修内容	教育行政の理念としくみ:教基法および地教行法における規定事項について理解する。		
授業外学修内容	教育行政の理念としくみについて考察してまとめる。	時間数	3
8週目			
授業学修内容	教育関係法規学校教育法関連の問題を読み解く:学校教育法に関する諸課題に関する通達や判例などから理解を深める。		
授業外学修内容	課題解決に向けての政策や教育現場での取り組みについて考察してまとめる。	時間数	3
9週目			
授業学修内容	教育制度をめぐる諸課題:子どもの権利、教育格差、教育機会確保法「いじめ」、不登校やフリースクール等の動向に関する様々な資料を読み解くことによって、グローバルな視野からも子どものあり方についての認識を深める。		
授業外学修内容	子どもの発達段階にみあった条文の訳出を試みることなどを通して認識を深め、チェックシートを完成させて提出する。	時間数	3
10週目			
授業学修内容	学校保健安全法① 学校安全の必要性		
授業外学修内容	安全管理・安全教育に関する概念や重要用語について調べ、対応への認識を深める。	時間数	3
11週目			
授業学修内容	学校保健安全法② 災害への対応		
授業外学修内容	これまでの災害の実態をふまえ、対策を考える。	時間数	3
12週目			
授業学修内容	諸外国の教育事情や教育改革の動向(1)北米 北米(主にアメリカ)の教育制度や教育行政についての知識を深める。		
授業外学修内容	リアクションペーパーを仕上げ、次回授業で実施する確認テストの準備をする。	時間数	2
13週目			
授業学修内容	諸外国の教育事情や教育改革の動向(2)ヨーロッパ ヨーロッパ(主にフィンランド)の教育制度や教育行政についての知識を深める。		
授業外学修内容	リアクションペーパーを仕上げ、次回授業で実施する確認テストの準備をする。	時間数	2
14週目			
授業学修内容	諸外国の教育事情や教育改革の動向(3)アジア 韓国及びシンガポールの教育制度や教育行政についての知識を深める。また、比較の視点から見た、日本の教育の特徴や課題を考察する。		
授業外学修内容	リアクションペーパーを仕上げ、次回授業で実施する確認テストの準備をする。	時間数	2
15週目			

授業学修内容	開かれた学校づくりの展開:地域との連携・協働による学校教育活動の意義および方法 学校と地域との新しい連携の形や意義について、取り組み事例(コミュニティスクール等)を踏まえて理解する。		
授業外学修内容	リアクションペーパーを仕上げ、期末テストの準備をする。	時間数	2
上記の授業外学修時間の合計		40	
その他に必要な自習時間		50	

Number	EDU-2-055-j	Subject	Principles of Education II(Secondary School)		
Name	平岡 さつき(Hiraoka Satsuki)、竹内 愛(Takeuchi Ai)	Year and Semester	S Second semester for 2020	Credits	2
Course outline	We will look at education systems and education administration from the view point of the relationship between education and society, and will think about the history, current status, and future of those systems and administrations. In particular, we will focus on educational problems in Japan after World War II. How did the education system change in the postwar social process? Furthermore, we will think about how the education system should be involved in how people live in the future.				